



京機会ニュース

No. 23 平成20年(2008年)秋号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL&FAX:075-753-5183 URL:http://www.keikikai.jp/
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp

平成20年度秋季大会・総会 ～ LINEUP ～

本年度秋季大会・総会は、11月15日(土)に
京都大学百周年記念館にて開催いたします。

スケジュール等詳細は、P.3をご確認下さい。
多数のご参加をお待ちしております。

**若手起業家による
講演会をお楽しみ下さい!**

支部による初の総会は大盛況 京机会の歴史に新たな1ページを加える



平成20年春季大会・総会を、4月19日
(土)、三菱重工業(株)横浜ビルにて開催
いたしました。

大会をお楽しみいただくと共に、開催地“横浜”もご堪能
いただきたいとの願いも込め、特別企画も盛り込みま
した本会には、ご家族も含め多数の皆様にご参加いた
だきました。当日の様子は、P.4をご覧ください。



平成21年春季大会・総会は、中部地区の産業技
術記念館(名古屋市)にて、4月18日(土)に、開催い
たします。詳細は次号にてご案内いたします。



九州支部 ～ 秋の行事・総会 ～ IN 長崎

10月25日(土)に長崎の歴史文
化博物館にて、九州支部総会を
開催いたします。本年度も従来
同様ご家族参加型の会合で、ミニ
コンサート等も企画しております。
多数ご参加下さい。詳細はP.11をご覧ください。



常光瑞穂氏(H9)

機械設計エンジニア経験を経
て、教育学部に編入学し心理学
を学び、平成15年より、会社設立
と共に産業カウンセラーとして
の活動を始める。これまでに、企
業に対するメンタルヘルス対策推進コンサルテーショ
ン実施や、企業人や起業や就職などのチャレンジを
目指す人達を対象とした約300回のセミナーや500
件以上のカウンセリングなど豊富な実績をお持ち
です。



高橋智隆氏(H13)

米国 TIME 誌の「Coolest
Inventions 2004」に選ばれた
二足歩行ロボット「クロイノ」と
高橋氏。ロボット開発ベン
チャーの「ロボ・ガレージ」を創
業し、学内ベンチャービジネスラボに入居。氏自身も、
ポピュラーサイエンス誌「未来を変える33人」に選
ばれておられます。



現在、ご活躍中の両氏の講演にご期待下さい!

偉大な先輩と希望に燃える学生の交流会!

本年度も秋季大会と
同日に、本学工学部物
理系校舎にて、「学生と
先輩との交流会」を開
催します。



大規模! 懇親会

京机会会員と学生会員の総勢300～400人規模の大
懇親会を国際交流ホールで開催します。



会長メッセージ

<変貌していく京機会活動>

ここ数年の間に「京機会」の活動は大きく変化してきている。従来は本部が主催する定例的な集りに機械系の卒業生と教員が集り、最近の話題を聞き、互いの近況を確かめ合う場であった。2年前に現役学生も会員に入ることにより関心事が広がった。また、全国に5つの支部が誕生し独自の活動を展開する基盤が出来たので、地域の会員が参加しやすい環境が整った。

本年から一年に2回ある総会のうち、春の総会は各支部が持ち回りで開催にすることにし、支部ごとに従来と異なったアイデアを総会に反映させ、地方の会員が参加しやすい環境をつくることにより、会員の便宜を図ることとした。その第1回が関東支部運営のもとに今年4月に三菱重工(株)の横浜ビルで開催され、家族同伴の総会が成功裡に終了した。今年度のテーマになっている各学年評議員が中心になる年度ごとの集まりがもっと活発化すれば、会員間の情報交換や親睦が一層深まると確信している。

インターネットで「大学同窓会」を検索すると654000件がヒットした。同様なことを「京機会」で行うと1090件に達して、その数の多さに驚かされる。その中には従来、耳に届かない個人の声も入っており、良い行事に参加したときの満足の声を聞くことも出来る。良い企画をつくり、うまくPRすれば必ず会員の耳に届き、参加

者がふえてくるはずである。広報の手段は会合だけではない。1年に2回発行する「京機会ニュース」に加えて、月に2回配信される「京機短信」のコミュニケーションの効果は大きい。今は久保名誉教授の個人的な努力によって発行が続いているが、安定して活動をする仕組みづくりが必要だと感じている。

また、先の日本経済新聞にも報道されたが、関西支部では「KMC活動」の名の下に、京機会会員のノウハウをベンチャー企業の活動支援に活用する模索が始まっている。これは将来的には、京機会の高い知財能力を広く社会のために活用する先駆けであり、同窓会活動が仲間内であるOB、教官、学生という「京都大学」の枠組みを超える可能性を秘めている。「京機会」が社会からも認識され、会員の能力がより広い範囲へ活用されることになれば、同窓会活動も新しい視点を獲得することが出来ると考えられる。

京機会活動を活性化するには魅力的な企画を立案し、シニア会員は言うに及ばず、とくに若手会員の参画を活発にすること、活動のベースになる財政基盤を強固にしていくことが基本と考えられるので、これらの点について会員諸兄のご協力をお願いしたい。

京機会会長 中川 哲 (S38)



学年評議員各位へ ～ 学年同窓会開催のススメ ～

京機会の目的は会員の親睦と発展で、その原点は各卒業年度の同窓会活動にあります。

学年同窓会の積極的な開催をお願いするため、少し形骸化の傾向も見られた評議員制度を、昨年、学年評議員制度に改めました。

京機会本部と致しましても学年同窓会の積極的開催のお手伝いをするため、来年より、秋の京機会総会当日の10時頃から14時頃まで時計台建物の会議室を出来るだけ多く借り上げ、ご希望の学年に同窓会会場としてお使い頂くことが出来るよう、手配するつもりです。



懐かしい母校の時計台で同窓会を開いて旧交を温め合い、また同日、学生が社会における現実を知るための教育活動の一つとして機械系教室で開催致しております「学生と先輩との交流会」の会場をぶらついて学生や企業の京機会会員との交流を深めて頂き、15時から京機会秋の大会の講演会を聞き、二次会というプランは如何でしょうか。

学年評議員におかれましては、是非ともご一考頂き、同窓会開催予約のご連絡を

jimukyoku@keikikai.jp, (Tel. 075-753-5183)

まで頂きますよう、お願い申し上げます。

運営委員会委員長 久保愛三(S41)

京機会代表幹事 吉田英生(S53)

評議員会のお知らせ

評議員各位には、今後の京機会活動についてのご審議・ご意見をいただきたく、是非ともご出席の程よろしくお願い申し上げます。

日時：平成20年11月15日(土)

12:00 ~ 14:30

会場：京都大学工学部物理系校舎

101室

●学年評議員は、P.5の一覧にてご確認ください

平成20年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

日時：平成20年11月15日(土) 15:15～
会場：京都大学時計台百周年記念館 百周年記念ホール 他
行事：



1. 講演会 15:15～16:15

「職場のメンタルヘルスについて」

常光 瑞穂氏 (H9卒、(株)ライフキャリアサポート 代表取締役)

職場や学校でも、メンタルヘルスについて積極的に取り組もうというところが増えていきます。「個人の問題でしょ？」以前はよく耳にしたこんな言葉も、最近はほとんど聞かなくなりました。しかし、実際に対策を進めてみると、「効果が上がらない」「浸透しない」など、様々な困難を感じている企業も多いようです。これからのメンタルヘルス対策について、事例をふまえてお話したいと思います。



2. 講演会 16:20～17:20

「ロボット時代の創造」

高橋 智隆氏 (H13卒、京都大学ベンチャー ロボ・ガレージ 代表)

ロボット本格実用化時代はどのように実現するのでしょうか。そのためには新しいコンセプトの創造や、他分野とのコラボレーションが不可欠なはずです。自身の創作活動を紹介しながら、今後のロボット分野の動向を皆様と共に探りたいと思います。



3. 総会 17:20～17:50

4. 懇親会 18:00～20:00

会場：京都大学時計台百周年記念館、国際交流ホール

会費：3,000円 学生1,000円(当日会場でお支払い下さい)

- ご自由な服装でお越しください。
- ご回答は、10月31日(金)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。
京機会ホームページ (<http://www.keikikai.jp/>) からも、受付できます。
但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「HP受付」のどちらか一方をお願いします。
- 当日は、12:00より評議員会を開催いたします。詳細は前頁をご覧ください。

京機会・京機学生会SMILE

学生と先輩との交流会のお知らせ

日時：平成20年11月15日(土)
10:45～

会場：京都大学工学部物理系校舎
懇親会：京都大学時計台百周年記念館
国際交流ホール

- 参加学生にはSMILE製作の特製企業ブックを贈呈！
- 本年度は9月1日付で京機会員在籍企業約250社宛に案内発送し、先着順にて参加企業を決定いたしました。上記登録済250社以外で次年度に案内送付を希望される企業は京機会迄ご連絡下さい。



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、平成11年より実施しております。



本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会の仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。

現在、約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評いただいております。

平成20年度京機会春季大会・総会のご報告



今回は、初の支部(関東支部)主催で、ご家族参加も含めて113名の参加者があり、京機会の歴史に新たな1ページを加えた総会となりました。

－ 特別企画 －

総会に先だって、特別企画(家族参加型)が催された。参加者は13時に三菱重工業(株)横浜ビル1階に集合し、プランA、プランBに別れて、ランドマークタワー展望観賞や三菱みなとみらい技術館・横浜美術鑑賞を楽しんだ。



－ 総会 －

15時からは総会がスタートし、横浜ビル33階で、関東支部橋本氏(S53)の総会開会の辞の後、吉村代表幹事(S43)の司会のもと、中川哲会長(S38)の挨拶、平成19年度の活動報告と会計報告、会計監査結果の報告と承認、平成20年度の予算報告があった。



●H19決算はP.6

次に、会員の個人情報保護の基本方針(目的は会員への連絡、会費の徴収、会員の親睦、名簿の発行であること)の説明がされ、承認が得られた。

続いて、関西支部(川辺支部長(S40))、関東支部(若園支部長(S42))、中部支部(中西支部長(S43))、中国・四国支部(河田支部長代理(S37))、九州支部(藤川支部長(S43))の活動報告があった。新役員案の提示があり総会で承認された。

●新役員はP.5

次に吉田新代表幹事(S53)より、次の総会の説明があった後、次の2件の技術講演があった。

－ 技術講演会 －

「大型発電プラントの熱効率向上」

三菱重工業(株) 若園 修氏 (S42)

日本の国内発電電力量は1兆kWh、人間1人あたりに換算すると、日本の国民が15人の家来を持っているのに相当する。発電技術のロードマップを提示頂き、従来型火力蒸気温度高温化、ガスタービンの高温化、石炭ガス化技術(GTC)、燃料電池(SOFC)複合発電技術の説明があった。



「自動車エンジンと燃料のこれからについて」

京都大学 塩路昌宏氏 (S50)

ガソリンエンジンで排出されるNOx、ハイドロカーボンは三元触媒できれいにでき、すす(微粒子)がない等の利点があるが、高効率化が難しい。一方、ディーゼルエンジンでは、絞りの損失がない;圧縮比が高い;温度が高く効率が良い;比熱が小さい等の特徴を持ち、高効率化に向いているが、三元触媒が使えないので、PMとNOxをどう抑制するかがポイントになる。各エンジンの技術動向と、ハイブリッドエンジン車の動向、自動車燃料の今後について豊富な資料で説明された。



－ 懇親会 －

18時からの懇親会は、港側の景色が見えるスカイラウンジで開催された。

上田氏(S57)の司会進行で、若園関東支部長の挨拶に続いて廣田氏



(S29)より乾杯の音頭の発声を頂き、参加者一同、食事と歓談、横浜の夜景を楽しんだ。最近に卒業した社会人の自己紹介の後、松久氏(S45)より大学の近況について、最近の教授の多忙さと、桂移転の話題提供があった。その後、中部支部牧野事務局長(S57)より次期の総会開催についての紹介があった。

最後に村山氏(S28)より閉会の挨拶があり、中川会長から、初の支部による総会開催を成功に導いた関東支部への御礼が述べられ、散会となった。



平成21年春季大会・総会は中部地区、平成22年度は中国四国地区にて開催予定です。今後もどうぞご期待ください。

春季大会での風景 - 番外編 -



平成20年度京機会役員 (敬称略)

【会長】 中川 哲(S38)

【副会長】 吉村允孝*(S43)

川辺泰嗣 (S40、関西S)、若園 修*(S42、関東S)
 中西 清*(S43、中部S)、鷺尾誠一 (S40、中四国S)
 藤川卓爾 (S42、九州S) ◎ Sは支部長の略
 久保愛三(S41、会長指)、所 哲哉*(H20、学生会)

【監事】 森 雅彦(S60)、植木 努(H1)

【代表幹事】 正:吉田英生* (S53)

副:北條正樹* (S54)

【常任幹事】

会長指名: 熊澤正博(S43)、松久 寛(S45)、
 牧野俊郎(S47)

地区代表幹事:

(関西)岡村将光*(S56)、(関東)北浜正法*(S51)
 (中部)牧野 誠*(S57)、(中四国)後藤 宏*(S63)

◎ * は新任

◎ 正:は正幹事、副:は副幹事の略

大学側幹事:

(関西) 正:田畑 修(S54)、副:中部主敬*(S56)

(関東) 正:吉田英生(S53)、副:北條正樹*(S54)

(中部) 正:榎木哲夫(S56)、副:松原 厚*(S60)

(中国四国支部担当) 正:熊本博光(S44)

副:安達泰治*(H2)

(九州) 正:井手亜里(S52) 副:宮崎則幸(S47)

(名簿担当) 横小路泰義(S59)

(広報:ニュース) 正:松原 厚(S60) 副:蓮尾昌裕*(S61)

(広報:HP) 西脇真二(S61)

(会計) 正:星出敏彦*(S52) 副:木村健二*(S51)

(学生会) 富田直秀*(S54)

塩瀬隆之(H8)、泉井一浩(H8)

学生会: 小森 正輝*(H20)

【通信・情報担当】 野中铁也(S55)

【運営委員会】

中川 哲、吉田英生*、久保愛三、熊澤正博、
 松久 寛、星出敏彦*、谷垣哲也*(S56)

平成20年度京機会学年評議員 (敬称略)

卒年		卒年		卒年		卒年		卒年	
S20	谷口 浩	S32	福森 康文	S45	各務 嘉郎	S58	永瀬 豊	H 8	泉井 一浩
S21	大矢根守哉	S33	野田 忠吉	S46	三津田恒夫	S59	横小路泰義	H 9	佐野 智一
S22	岸本 雅夫	S34	柴田 俊忍	S47	秋山 雅義	S60	新井 聡	H10	鶴飼 宗紀
S23	岐美 格	S35	松木 健次	S48	佐々木美樹	S61	蓮尾 昌裕	H11	佐藤 紘一
S24		S36	四方 光夫	S49	閑納 真一	S62	川上 浩司	H12	小田 豊
S25	森川 龍一	S37	伊藤俊太郎	S50	山西健一郎	S63	玉川 雅章	H13	土井謙太郎
S26	吉川 和彌	S38	中川 哲	S51	杉江 俊治	H 1	石谷 善博	H14	金田 靖弘
S27	鈴木 正直	S39	垣野 義昭	S52	中井 善一	H 2	水山 元	H15	吉富 聡
S28旧	乾 宰人	S40	元田 武彦	S53	上原 一浩	H 3	若林 英信	H15	中安 祐貴
S28	西田 弘	S41	中嶋 邦彦	S54	坂口 保彦	H 4	岩前 敦	H17	向 朋作朗
S29	下田 隆二	S42	藤川 卓爾	S55	小寺 秀俊	H 5	岩井 裕	H18	中務 陽介
S30	田中 道七	S43	迫 勝之	S56	榎木 哲夫	H 6	茨木 創一	H19	北川 優太
S31	橋本 昌	S44	小谷 重遠	S57	上井圭一郎	H 7	小森 雅晴		

● 各学年評議員各位: 学年評議員の交代がございます場合は、京機会事務局までその旨、ご連絡下さい。

京機短信について

京機会ニュースが年2回の発行であるのに対して、よりリアルタイム性の高い情報をお伝えするために、月2回、京機短信を、京機会ホームページ配信ならびに登録者にはE-mail 配信しております。

京機短信は、京機会会員のオピニオンの紹介、京機会の現状報告・案内、京機会会員のいる会社や大学・公官庁の情報発信等を致します。これは、これらのことにより京機会員の相互理解を進め、研究・教育・技術協力を活性化させ、その上に立って機械系教室OBと大学とが連携し相互の発展を目指すための一助で、日本機械産業の発展の中心に京大機械系学科を存在させんとする京

機会活動を補助するものです。

また、京機短信のバックナンバーは下記からいつでもダウンロード出来ます。

<http://www.keikikai.jp/tanshin/tanshin1.html>

会員各位からの活発な寄稿を宜しくお願い申し上げます。原稿は、ワードで適当に書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図表・写真などを別のファイルで送って頂いても結構です。割付等は適当に行いますので、全く考えてもらう必要はありません。

また、E-mail登録もお願いします。

世話人 久保愛三(S41)

会計関連のご報告とお願い

会計状況について

本会の平成19年度決算(簡略版)は、下表のとおりです。今年度は、年々活発化する本会の活動を強力に支援できるように、事務局の態勢強化を重点的に実行する計画です。ついては、これに相応の支出を予定しておりますので、ご理解賜りたく存じます。本会の活動の活性化を維持しつつ、本会の健全な財政基盤を確立するため、今後も皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

寄付のお願い

ご承知の通り本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度ご寄付者 (H20. 3. 1~H20. 9. 12)

巽 竹次様(1951)	塚本 恭之様(1951)
二科 稜三様(1958)	奥津 尚宏様(1965)
中西 清様(1968)	西田 光男様(1970)
高橋 義雄様(1973)	森 雅彦様(1985)

会費納入のお願い

平成20年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力ください。

会費ならびに寄付ともに添付の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合や永年会員登録には、必ず金額等を所定欄にご記入いただきますようお願いいたします。

★永年会員登録のお勧め★

1971年以前のご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費60,000円を納入することにより、その後の年会費はなく生涯京機会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金はいたしません。)

平成19年度京機会決算 (簡略版) 自 H19. 3. 1 至 H20. 2. 28

I. 一般会計の部

1. 前年度繰越金(平成18年度会計より繰越) ¥10,603,637

2. 収入

摘要	金額	内訳
預金利息	2,290	
会費収入	7,219,000	
寄付金	182,025	
名簿広告収入	50,000	
秋季大会・交流会懇親会費	371,000	一般 88名*3000 学生会員 83名*1000 非学生会員 8名*3000
学生と先輩の交流会参加費	5,300,000	H19年度103社*50000、H18年度3社*50000
名簿積立金	710,000	
合計	¥13,834,315	

3. 支出

摘要	金額	内訳
会員通信費	1,807,601	春季・秋季大会案内発送費等
印刷費	1,102,084	春季・秋季大会案内等印刷費
備品消耗品費	419,355	文具等消耗品購入費等
人件費	4,524,674	常勤アルバイト代・保険代等
支部交付金	1,895,113	関西支部交付金他4支部
旅費	1,279,770	幹事会役員旅費等
会議費	483,936	幹事会経費等
大会経費	1,882,762	総会懇親会等経費等
学生会事業費・機械系教育補助費	464,019	SMILE活動費・工場見学補助等学生支援費
業務諸費(手数料関係)	189,487	郵便振替振込手数料等
雑費	116,717	HPレンタルWEB使用料等
特別戦略費	307,175	事務局強化費
名簿積立金	355,000	
合計	¥14,827,693	

4. 次期繰越金(平成20年度会計へ繰越) ¥9,610,259

5. 名簿積立金(平成20年度会計へ繰越) ¥355,000

6. 基本金 (平成20年度会計へ繰越) ¥383,530

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録 18,678,019

2. 収支明細

摘要	収入	支出
定期貯金利子	8,436	
銀行手数料		525
合計	8,436	525

若手による研究・教育の紹介 (5)

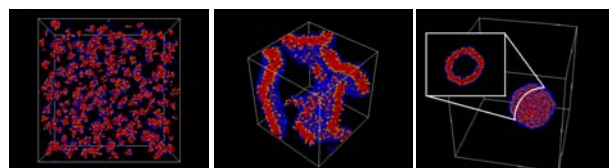
メゾスコピックのススメ

平成19年5月付けで京都大学 機械理工学専攻に着任いたしました。私は、北海道大学理学部物理学科を卒業後、東京大学大学院工学系研究科システム量子工学専攻(大橋研究室)に在籍し、その後、JSPS特別研究員(東大機械 松本・高木研究室)、理化学研究所研究員(VCAD安達チーム)を経てきました。一貫して、コロイド、エマルション、血液、細胞といったソフトマターの示す複雑な性質について、数値シミュレーションを用いた研究を行ってきました。ここでは、対象となる巨視的な系を構成する微視的な要素の特徴を捉えた、かつ、巨視的な方程式を必要としない数理モデルの考案を行ってきました。といっても分子動力学法のことではなく、もっと抽象的なモデルです。要素の従う手続きの制約とその伝播によって、巨視的に複雑な現象が自然な形で現れるモデルとは何か、その複雑性を発現する物理的構造や階層性をどのように抽出し、理解するのか、ということを考えてきました。

話がわかりにくいと思いますので、流体を例に取りますと、一般的に流体の巨視的な運動はNavier-Stokes方程式によって記述されます。水の流れも空気の流れも、密度や粘性係数の値が異なるだけで、方程式の形は変わりません。しかし、その微視的な運動は、全く異なります。空気の分子は水分子と比べて自由に動き回っていますし、そこには水素結合のような構造化を引き起こす相互作用もありません。ではなぜ、巨視的には同じ方程式で記述されるのでしょうか。これに対する数理物理的に正確な答えは見つかっておりませんが、ポイントは分子の乱雑な運動(分子カオス)です。巨視的な現象に至る過程で、微視的なモノゴトのほとんどは分子カオスの中に埋もれ、分子の個性などは失われてしまいます。失われなかったコトだけが、巨視的な現象の特徴的な性質を決めており、流体の運動に関しては、運動量の保存則がそれに相当します。つまり、要素レベルで分子カオス的な緩和現象を示し、かつ、運動量を保存するダイナミクスは、巨視的にはNavier-Stokes方程式に従うことになります。

このような性質を満たすモデルは実在の分子運動を含めて、多数存在すると考えられ、巨視的に特徴的な性質というのは、必ずしも微視的な性質と一対一に対応しているわけではなく、もうちょっと抽象的な階層におけるナニガシかと対応していると考えられます。この抽象的な階層は、微視と巨視の間のどこかにあると考えられ、これをメゾレベル、その階層に着目した見方ということでメゾスコピックと私は呼んでおります。

ようやくメゾスコピックが出てきました。メゾスコピックの利点ですが、このように分子の詳細に着目するのではなく、その分子構造や分子間相互作用から発現する特徴的な性質や分子群の一部の自由度に着目し、系の複雑さを決めているユニークな物理を抽出することで、巨視的なダイナミクスの発現に至る過程を理解しようとするところにあります。このような考え方は、“コトの本質が何か”を考えることでもあり、全く異なって見える問題についても、問題解決の筋道を与えてくれます。また、思いもかけず、分野横断的な普遍構造(自然科学に限らず)の発見に導かれることもあり、そんなときは無邪気に嬉しいです。



図：脂質分子のメゾスコピックモデルによる会合構造のシミュレーション。左から、ミセル、共連続相、ベシクルを示す。脂質分子の有する両親媒性が会合の駆動力となり、脂質分子の幾何構造的特徴が、巨視的な会合状態を決定する。



井上 康博 助教(機械理工学専攻機械材料力学講座適応材料力学分野) 細胞の有する力学-生化学変換機構の解明に関する研究に従事。専門はソフトマター物理、計算統計力学。

教員の異動

就任

◆四竈(しかま) 泰一 助教：

H14東大・工・システム創成(システム量子)卒、H16東大・工・システム量子修士課程修了、H19同博士課程修了(博士(工))、H19.4~H20.3同助教、H20.4本学・工・機械理工学専攻光工学分野助教。



光計測を利用した原子分子素過程、特に表面やプラズマとの相互作用、の研究に従事。

異動

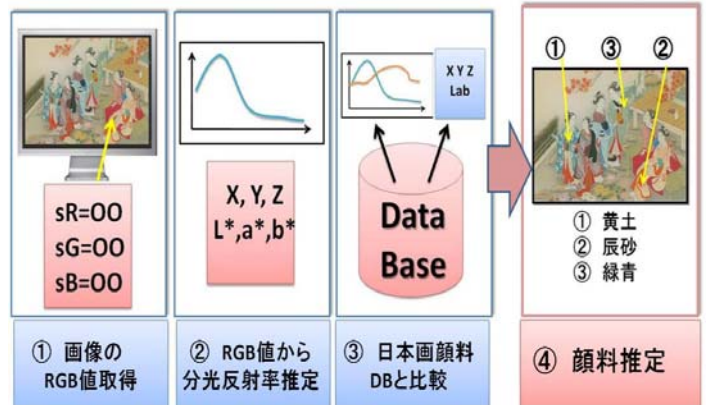
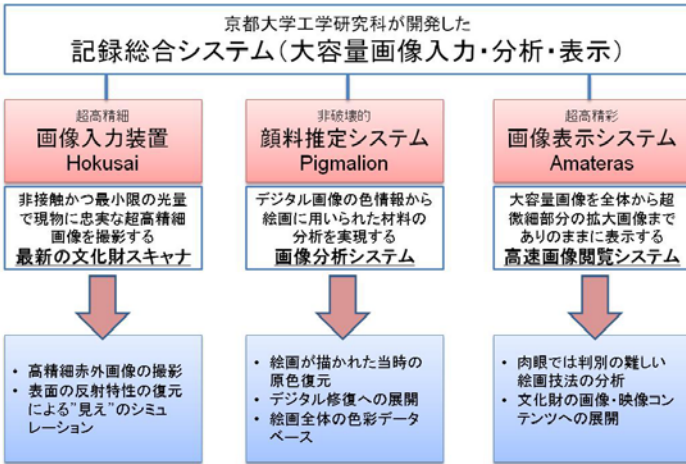
- ◆伊藤 靖仁 助教：本年4月1日、
ニューヨーク市立大に異動。
- ◆鈴木 孝明 助教：本年4月1日、香川大に異動。

井手亜里教授 (S52) 研究報告

京都大学工学研究科・機械理工学専攻・先端イメージング工学・井手研究室では、イオンビーム、電子ビーム、放射光、可視光を用いた超微細領域での材料加工・分析技術に関する研究を行い、イオンビーム表面改質装置、プラズマディスプレイ材料評価装置(2次電子放出率検査装置等)機械の設計製作を行ってきました。

顔料推定システム「Pigmalion」の開発

日本絵画に使用された顔料を、デジタル画像の色情報(RGB値)のみから推定するアルゴリズムを独自に開発しました。顔料推定の基盤として、日本の文化財に使用された顔料約500種類について、①自然科学データ(反射スペクトル、蛍光X線分析など)、および②史学データ(精製法、産出地、用いられた時代など)から構成される顔料データベースを開発しました。



顔料推定フローチャート

研究概略図

画像からの分析技術 (Analytical Imaging) という新しい分野(機械、材料分析およびIT技術の複合領域)での研究活動

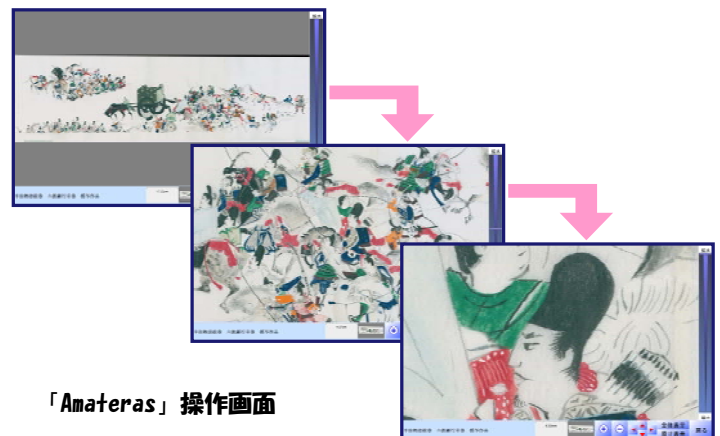
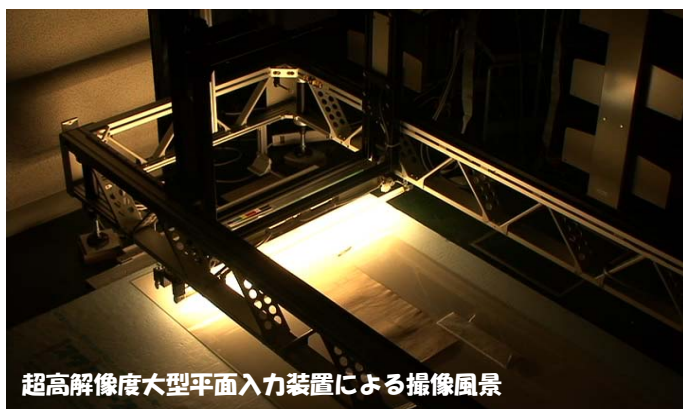
2004年度より独立行政法人科学技術振興機構の「育成研究」および「重点地域研究開発推進プログラム」の採択を受け、最先端のイメージング技術と分析技術の融合を目指し、文化財に特化した画像入力装置の設計製作、及び画像分析システム・画像処理システムの研究開発に取り組んでいます。

画像表示システム「Amateras」の開発

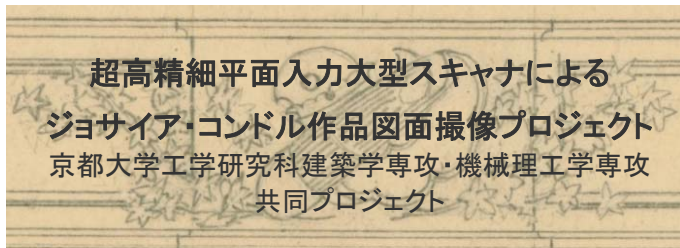
超高解像度入力装置で撮像した画像のデータ容量は、一枚辺り数百MBから数十GBになります。この高精細・大容量のデジタル画像を、一般に市販されているハードウェア(PC)を用いて、十分なレスポンスで、かつ安全に表示・閲覧することのできるシステム(名称「Amateras」)の開発が行われました。本システムの画像変換ツールで閲覧用データに変換すると、全体画像から超微細部分の拡大画像までを拡大・縮小したり、自由にスクロールして表示・閲覧することが可能になります。

画像入力装置の開発

文化財の現状をデジタルデータとして正確かつ半永久的に保存するために、歪みのない高い寸法精度、忠実な色再現、1200dpiの高解像度ならびに新規開発した光源を用いた近接光による均一な照明で、超高精細画像を取得できる画像入力装置を設計し、実用機レベルまでの開発に成功しました。



具体例として、平成19年度京都大学総長裁量経費で行われたプロジェクトをご紹介します。



「日本西洋建築界の父」と称されるジョサイア・コンドル博士(1852-1920)の建築図面の多くは京都大学大学院工学研究科建築学専攻に所蔵されています。網町三井倶楽部、東京復活大聖堂(ニコライ堂)の詳細な図面に加え、既に失われてしまった独逸大使館、島津邸本館、古河邸本館を含む28件468枚の詳細な建築図面が残されています。これらの図面はその資料的価値が評価され、2006年、重要文化財に指定されました。

京都大学では、京都大学大学院工学研究科建築学専攻が中心となって、専攻をまたがる融合プロジェクトの一環として、コンドルの代表作である網町三井倶楽部、東京復活大聖堂(ニコライ堂)、芝唯一館、山縣家小田原別邸の建築図面110点の撮像が行われました。

(撮影期間：2007年8月21日～31日)

この撮像には、井手研究室で構造設計・開発された超高解像度大型平面入力装置が使用されました。最先端技術を用いて建築図面をデジタル化し、データベース構築を行った本プロジェクトは日本初の試みであり、コンテンツ化された図面資料は、教育教材、技術資料など様々なフィールドでの多岐に渡る活用が期待されています。



京都大学大学院工学研究科建築学専攻所蔵
「三井家倶楽部本館」

多機能スキャナの設計・開発

このプロジェクトをきっかけに、建築図面の撮像に特化した多機能(IR画像の撮像、透過画像の撮像等)スキャナ(名称「コンドル機」)の設計、開発が行なわれ、最高解像度1200dpiでの撮像が可能になりました。さらに、新しい光源を用い、必要最低限の範囲に収束させた光を用いることによって被写体への照射光量を従来の約100分の1弱まで抑えることに成功しました。



多機能スキャナ「コンドル機」

注) 掲載されている図面画像は著作権の対象であり、許可なく転写、コピーすることを禁じます。

京機回事務局より

執筆いただいた井手教授には、10月開催の九州支部「秋の行事」にてご講演いただきます。

平成20年度九州支部「秋の行事」

<講演会> 「芸術のための科学技術」



井手 亜里 氏 (S52)

京機回事務局副支局長
京都大学機械理工学専攻教授

日時：平成20年10月25日(土)

会場：長崎歴史文化博物館

詳細は、P. 11を参照ください。



支部だより

関西支部からのお知らせとご報告

平成20年上期活動報告

◆関西支部活動

今年度より、関西支部を活性化するための基本方針から具体案(新企画)までを議論して運営委員会に答申する、支部長直轄の「諮問委員会」を設置しました。

◆異業種交流会

第26回:平成20年6月18日(水)(学生会SMILEと共催)
場所:三菱電機(株) 姫路製作所 参加人員34名
見学:オルタネータ、スタータ、モータの製造ライン
講演:①「電動パワーステアリングへのニーズと対応制御方式の開発」 栗重正彦氏(三菱電機(株) 先端技術総合研究所)
②「インジェクタの噴霧解析技術と燃焼系開発への適用について」 住田守氏(三菱電機(株) 姫路製作所)
③「大減速比歯車装置 - 差動歯車装置の原理機械的理解 -」 久保愛三氏(京都大学 名誉教授)



講演する住田氏

◆MOT研究会(京機サロン)

○第31回

日時:平成20年2月15日(金)
場所:ガーデンシティクラブ大阪
参加者27名
講師:能見利彦氏(S54、神戸大学大学院 工学研究科 教授)
講演題目:「国の政策の創り方、考え方」



○第32回

日時:平成20年5月23日(金)
場所:大阪弥生会館 参加者40名
講師:菰田卓哉氏(松下電工(株) 先行技術開発研究所 技監 Ph.D)
講演題目:「有機EL開発の最前線」

○第33回

日時:平成20年8月2日(土)
場所:国立文楽劇場 参加者:29名
演目:①お夏清十郎・五十年忌歌念仏 播州姫路 ②鐘の権三重帷子(やりの ごんざ かさねかたびら)



◆産学懇話会

第29回:平成20年7月26日(土) 参加者:21名
場所:京都大学工学部物理系校舎 2F 216室
①「シリコンは優れた機械材料なのか?」 土屋智由氏(京都大学 マイクロエンジニアリング専攻 教授)
②「吸振器による制振-安い、易い、丈夫で長持ちの

制振法」松久寛氏(京都大学 機械理工学専攻 教授)
③「エレベータを支える最新技術」 宇都宮健児氏(三菱電機(株) 先端技術総合研究所)

◆KMC(京機会MOTセンター)

○KMC運営委員会

日時:平成20年5月9日(金)17時30分~20時
概要:キャリア活用事業グループの活動状況報告及び関西雇用創出機構(西宗氏)とキャリアネットワーク(元田氏)に関するKMCの活用の可能性等について議論。新BPとして共栄実業を承認。

○キャリア活用事業グループ会議

4月から7月までの間に4回開催。
概要:中小企業支援機構へのKRPの事業企画の支援、KMCニュースの発行等広報活動、活動資金確保、ネットワーク拡大の方策、並びに関西雇用創出機構のニーズの扱いなどを議論。

○KRP主催のプレゼン会への参加

日時:平成20年6月28日(土)10時~19時30分
概要:KRP主催の自動車メーカー関連企業へのベンチャーによる新技術のプレゼン会にアドバイザーとしてKMC会員が参加。

○KMCの総会は昨年と同様に12月に開催する予定。

◆京機九日会

場所:大阪中央電気クラブ

- 4月9日 「機械学会関西支部シニア会紹介」 坂戸瑞根氏
- 6月9日 「社会縮小への道」 松久 寛氏
- 8月9日 「情報サービス産業の最近の話題」 伊藤俊太郎氏
- 次回:平成20年10月9日 「宝石の話」 中谷征司氏
2009年度の幹事は、昭38卒組が担当します。皆様のご参加をお待ちしております。

◆京機・京都の会

京都近辺に在住の京機会会員交流の例会を年4回開催しております。(開催日は3、7、9、12月の第1土曜日)
○3月1日 「神が決めた人間の限界」 久保愛三氏
○7月5日 「機械と生物の非線形現象」 池内 健氏
○9月6日 「熊本の話-熊本バンドと下村孝太郎-」 三浦 精氏
○次回:平成21年2月6日 (テーマ未定)

関西支部今後の予定

平成21年度関西支部総会・新年会

日時:平成21年1月10日(土)
総会:17:00~18:30 新年会:19:00~21:00
場所:ホテルグランビア大阪

今回は**土曜日**に開催します。詳細は別途ご案内しますので、多数のご参加をお願いします。



支部だより

関東支部からのお知らせとご報告

異業種交流会ご報告

恒例の異業種交流会を、本年度の当番企業であるJFEスチールの幹事により開催いたしました。

(詳細は京機短信No92に掲載)

日時:平成20年7月4日(金) 14:00～

場所:JFEスチール 東日本製鉄所(千葉地区)

見学:第6溶鉱炉、第3熱間圧延工場

第9回関東支部総会・新年会のご案内

日時:平成21年1月24日(土) 13:30～

場所:日立金属 高輪和彊館

内容:リカレント教育講座、関東支部総会、新年会

***詳細は別途ご案内いたしますので、多数のご参加をお願いいたします。**



異業種交流会の風景

九州支部からのお知らせとご報告

～ 初夏の行事より ～

平成20年5月31日(土)～6月1日(日)に、1泊2日で、霧島温泉において京機会九州支部の「初夏の行事」を開催しました。

5月31日に霧島国際ホテルでミーティングと懇親会を行いました。京機会本部の中川会長(S38)、川口前会長(S34)、久保副会長(S41)ご夫妻、熊澤幹事(S43)、松久幹事(S45)をはじめ、他支部からのご参加を得て、総勢14名集まりました。

これに先立って、希望者はえびの高原の散策をしました。好天に恵まれ、六観音御池や不動池のコバルト色の湖面と新緑の中のミヤマキリシマを楽しみました。



夕方には、ホテルの自家発用バイナリーサイクル地熱発電所を見学しました。

懇親会では関西支部から参加された鎌倉氏(S30)や桜井氏(S53)からもお話を伺い、九州支部は藤井氏(S40)が熊本から、藤川支部長(S42)夫妻と長友氏(H11)が長崎から参加し、地元鹿児島島の江夏氏(S54)、下井田氏(H13)や本部、他支部の会員との親交を深めました。



6月1日は韓国岳登山組と篤姫・薩摩歴史探訪の2コースに分かれて南国の初夏を楽しみました。



～ 平成20年度秋の行事 ～

平成20年度支部総会は10月25日(土)に開催します。ご家族連れや九州支部以外の会員も歓迎いたしますので、是非ご参加下さい。

<総会・講演会・ミニコンサート>

日時:平成20年10月25日(土)

場所:長崎歴史文化博物館 <http://www.nmhc.jp/>
長崎市立山1-1-1、TEL:095-818-8366

13:30～14:00:総会(1階ホール)

14:10～14:55:講演会(1階ホール)

「芸術のための科学技術」井手副支部長

15:05～16:00:ミニコンサート(1階エントランスホール)

今回初めての試みとして、講演会とミニコンサートは京機会員だけではなく、博物館に来場する一般の皆様にも開放したいと思っております。

<懇親会>

場所:料亭青柳 長崎市丸山町7-21

時間:17:00～19:00

会費:本人 ¥8,000.-/人、家族 ¥5,000.-/人

参加申し込み方法:

同封はがき回答欄、もしくは京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>)での登録にて申し込み願います。



支部だより

中部支部からのお知らせとご報告

中部支部総会の報告

日時:平成20年4月13日(日) 15:00~20:00
 場所:(株)デンソー Dスクエア 参加人数:82名
 講演:「マネジメント改革の工程表」
 岸良 裕司氏 ゴールドラットコンサルティング
 「京都大学機械系21世紀COEの拠点形成活動報告」
 榎木 哲夫教授 (S56) 京都大学



総会では19年度会計及び20年度役員の承認が行われ、支部長は中西清氏(S43、(株)コンポン研究所)が、また事務局長には 牧野誠氏(S57、トヨタ自動車(株))が新たに選出されました。引き続き講演会では、今回は技術的な内容から離れた2テーマを頂いております。岸良さんの楽しくユーモア溢れるお話に日頃マネジメントで頭を悩ませている会員の皆さんは時間を忘れ聴き入っていました。

榎木先生からは教育活動を中心にCOE拠点形成の意義と今後の展開についてお話を頂きました。

総会後は恒例の新人歓迎会&懇親会で楽しいひと時を過ごしました。

技術交流会の報告

日時:平成20年7月4日(金)14:00~19:00
 場所:自然科学研究機構 核融合科学研究所(岐阜県土岐市) 参加人数:33名
 講演:「研究所概要説明」
 本島修 核融合科学研究所 所長(S46、理学部卒)
 「マイクロ波照射による物質創成の新展開」
 佐藤元泰教授 核融合科学研究所

洞爺湖サミットと時期を同じくして、私達は安全で環境に優しい新しいエネルギー源、核融合の研究所を訪れました。実現に向けて着実に研究は進んでいます。



中国・四国支部からのお知らせとご報告

平成20年度活動予定

1) 地区別交流会

本年度も昨年に引き続き、下記の交流会を開催致しますので、会員のみなさまのご参加をお願い申し上げます。詳細は、Eメールおよび本部HP掲載にてお知らせ致します。

①岡山地区:10月3日(金)19:00~

倉敷駅前倉敷ステーションホテル地下1階『白壁』

②広島地区:10月中旬にJR広島駅周辺にて開催予定。

支部運営会議を同時開催し、次期支部総会の開催要領や会費納入率向上対策等について討議する予定。

③四国地区:11月上旬開催にて調整中。

2) 支部総会

平成21年2月頃の開催予定です。

日時・場所等の詳細については、支部運営会議にて決定の後、別途ご案内申し上げます。

平成20年異業種交流会について

平成20年2月16日(土)宇部72アジススパホテル(山口市阿知須)にて、支部運営会議および支部総会を開催致しました。引き続き開催の「異業種交流会」では、下記のご講演を行なって頂きました。

①『ベアメタルステットの構造と力学特性の最適化』

森浩二氏(H8)/山口大学医学系研究科准教授

②『両軸リール用電子制御ブレーキの製品化』

平泉一城氏(S59)/宇部興産機械(株)技術開発センター

その後、宇部興産(株)宇部アルミホイール工場の見学ならびに上記ホテルでの懇親会を行ないました。



学生KRATからのお知らせとご報告

平成20年9月10日より9月13日の4日間、本年度も小笠原総合運動公園(静岡県)にて、第6回学生フォーミュラ大会が開催されました。

本誌が皆様に届きます頃には暑い4日間も終わり、大会結果も出ているころと思いますが、大会に関しましては後日改めて報告させていただきます。

今年でKARTは5年目となります。本年度は「SMART」をコンセプトに掲げ、全てのパーツが無駄の無い、理にかなったパーツであり、それに加え車輛の美しさも兼ね備えた完成度の高い車輛である事を目指しました。完成度を高めるには調整の時間が多く必要であり、6月

末のシェイクダウンから、幾度もの走行会を重ね、制御・セッティング・ドライバーの技量、十分満足とは言えないまでも、ともに向上させて大会に臨む事ができました。

私達KARTがここまで活動してこられたのも、日頃よりご支援ご声援いただいている皆様のお陰です。メンバー一同、心より感謝しております。本当にありがとうございます。

それでは、また大会の報告をご期待ください。

京都大学フォーミュラプロジェクトKART

2008年度プロジェクトリーダー 鯨岡絵理(M1)



学生会SMILEからのお知らせとご報告

平成20年度下半期の活動

9月25日～27日に中部地方への工場見学を実施しました。中部工場見学では中部支部の協力により森精機製作所、豊田自動織機、産業技術記念館、ヤマハ発動機を訪問させていただきました。

この企画を通して、まずは学生に京機会とSMILEの活動の魅力を伝え、さらに学生が自身のキャリアについて深く考えた末に、11月の「学生と先輩との交流会」を迎えたいと考えております。去年よりもさらに充実した内容になるように頑張っています。

学生と先輩との交流会について

昨年はこの交流会に、100社以上約200名に及ぶ先輩方と約300名の機械系在学生在が参加しました。今年も11月15日(土)に京都大学物理系校舎で開催させていただきます。

「学生と先輩との交流会」は京機会総会と同日開催であり、交流会・京機会総会全体での懇親会が予定されています。懇親会では先輩と学生がさらに密に話せる場を提供できたらと考えております。SMILEでは交流会を学生と企業の双方により有益なものにするために企画を検討しています。先輩方にとっても最近の学生が日々どのようなことを考えているのかを知ることのできる良い機会かと思っておりますので、お誘い合わせの上ご参加いただけると幸いです。

私たちSMILEとしましても、この交流会を今後の学生会運営に関してのヒントを得る機会にしたいと考えていますので、何か先輩方と学生が連携できるような案をお持ちでしたら、当日SMILEスタッフを見つけご提案いただくと光栄です。本年もご協力のほどお願い致します。

平成20年度上半期実施企画報告

新入生歓迎企画(講演会)

日時:平成20年4月17日

講演者:

明楽俊幸氏(M2、青年海外協力隊を経験)

喜 洋洋氏(M1、ベンチャービジネスを起業)

佐藤政司氏(D3、博士課程へ進学)

参加学生:約20名(主に修士1回生)

内容:学生に目標を持って修士課程をすごしてもらうため、まず意欲的に活動されてきた先輩学生による講演会を行い、次に新入生とほぼ同数の先輩学生を交え、少人数のグループに分かれた上での対話会を開催しました。



学生と社会人混成チームで取り組む夏休み設計セミナーの紹介

このセミナーは、設計の楽しさと設計の本質を理解してもらうことを目的として、2001年から毎年夏休みにボランティアで開催してきました。セミナーでは、8～9名からなる企業のエンジニアと学生からなる協同チームで2日半にわたって、設定された設計課題に取り組み、「現在何が重要で、何を検討しなければならないのか」「設計の物理的な根拠は何か」を考えながら、論理的に設計を進めます。3次元CADとCAEは、あくまで設計仕様の検証のための道具として用います。これまでに約460名が受講し、学生、社会人を問わず、「設計の本質を理解することができた」と好評を得ており、2008年度(本年度)は機械学会関西支部の主催で開催しました。

この発端は、大阪府立大学の小木曾先生が、設計と3次元CADの指南をしているCADICという会社の筒井氏に“設計ってどんな風に教えたらいいの？”と質問したことに始まります。筒井氏が、“大学がそれでは困る。じゃあいっぱい学生を教えてみよう。どうせなら企業のエンジニアとチームをつくらう”と提案し、即実行されました。縁があって2002年から京都大学の教員と学生も参画することになりました。

設計課題は「傾斜15度の坂を上る2足歩行ロボット」や「制限時間以内に液体の入った紙コップを移動する機械」など、実際に世の中にないもので抽象的なものが与えられます。受講者はチームで議論を進め、具体的な仕様(数値目標＝検証可能な目標)を設定しなければなりません。このためには設計対象のコンセプトをしっかりと定める必要があります。

各メンバーは、模造紙の上にアイデアや考えを書きながら議論します。模造紙は“頭の中にあること”の可視化とドキュメントしての機能も持ち、レビューとのコミュニケーションの道具にもなります。模造紙はもともと簡単で確実なコミュニケーション手段なのです。機構設計が完了すると、3次元CAD/CAEが登場しますが、あくまで自分たちが模造紙の上で検討し、決めた仕様(質量、剛性、部品干渉、振動)の検証のために使います。このように前半では模造紙というアナログツール、後半ではデジタルツールの利点を最大限に活かしています。

チームは普段に業務を行っているエンジニアや研究室内の学生同士ではなく、まったく異質なメンバーによって構成される一方で、課題解決のためにチーム内の考えや意志が統一されなければなりません。この状況で意思疎通を行うためには、論理的な説明や理解が必要になります。また、チーム毎の設計レビューを参加メンバー全員で行いますので、グループの考えを他人

に示し、客観的に検証することの重要性を学ぶことができます。そして、リーダの使命が目標管理と時間管理であることを実感できます。

来年もまた夏休みに開講する予定ですので、チャレンジしてやろうという学生の方々には是非参加下さい。

松原 厚 (マイクロエンジニアリング専攻)

横小路泰義 (機械理工学専攻)



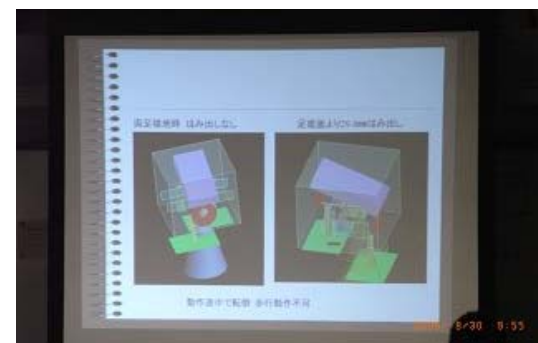
模造紙を囲んでの議論は深夜まで続く



デザインレビューでは講師の“なぜそうしたの？”という厳しい質問の連続…



機構と部品ツリー (ここからデジタル化)



最終プレゼンの様子。たった2日でここまでできる！

会員のページ

第25回 花房研同窓会のご案内

恒例の花房研究室の同窓会を本年も下記要領で開催いたします。関係者の方は是非ご出席下さい。お問い合わせは杉江まで。

日時:平成20年10月11日(土)

(a) ハイテクノロジー懇話会 16:30~17:30

(b) 花房研究室同窓会 17:30~20:00

場所:京都センチュリーホテル(京都駅前東側)

TEL:075-351-0111

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻

杉江俊治

なお、昨年の同窓会の写真を添付します。



昭和47年卒同窓会のご案内

昭和47年(1972年)卒業者の同窓会を開催します。

本年11月15日(土)午後に開催される京機会秋の総会にタイミングを合わせて、卒業以来初めての学年同窓会を、同日午前11時から、京都大学時計台百周年記念館2F会議室3で開催します。関係各位には往復はがきでご案内を差し上げます。懐かしい先生にもおいで戴きます。皆様ふるってご参加下さい。

(学年代表評議員:秋山雅義)

●**学年&研究室同窓会開催案内や掲示板としても京機会ニュースをご利用下さい!**

京機会ニュース記事投稿のお願い

ご覧いただきやすい紙面を目指し編集改革を進めております。皆様のご意見を事務局迄お聞かせ下さい。**会員のページの原稿字数は、200字以内でお願いいたします。**紙面の都合により事務局にて文章省略させていただくことがあります。ご了承下さい。なお、お送りいただいた写真は返却いたしません。画像ファイルも可能です。

次号(2009春号No. 24)の締切は12月末日です。

編集担当:松原 厚、蓮尾昌裕、小森雅晴、段 智子

第3回京都大学ホームカミングデイのご案内



京機会秋季大会・総会(11月15日)の前週11月8日に、京都大学主催のホームカミングデイも開催されます。詳細は右記URLにてご確認下さい。http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h8/d2/news4/2008/081108_1_1.htm



	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
B 北部キャンパス見学ツアー	10:00~						
C 桂キャンパス見学ツアー	10:00~						
D 同窓会全体会				13:00~13:20			
E 特別講演				13:20~14:20			
F 記念演奏会(ピアノ)					14:30~15:20		
G 懇親会						15:30~17:00	

会員のページ

洛友会(昭29年卒)総会

日時:平成20年5月26日(月)18:00
場所:宝塚温泉「若水」出席者:16名

関東から2名の参加を得て、第54周年総会を開催。近況等歓談した。卒後50数年ともなれば、夫々健康的にも問題があり、次回をもって一旦区切りをつけ、その後の運営については更めてという事になった。

(今井記)



35京機会(昭和35年卒同窓会)

平成20年3月18日、栃木県の日光、梅屋敷旅館に18名(含、夫人2名)が集まりました。平成17年10月の吉野に続き世界遺産の地で開催しました。齢70を超えましたが、参加者全員元気で、夜の更けるまで楽しく語り合いました。体力や財力の話はありましたが、材力、熱力の話はありませんでした。2年後に中部地方での再会を約して翌朝解散しました。

(太田記)



昭和38年卒同窓会

京大ヒュッテを利用するS38年卒志賀高原の旅も5年目になった。今年は高山植物を見るため6月に実施したところ、滑り込みでミズバショウも楽しめた。新顔3名を含めて9名の仲間が集った。初日は川中島の古戦場、松代城の城下町を散策してからヒュッテに泊まり、2日目は湿原から志賀山、裏志賀山と山歩きを楽しんだあと、熊の湯でゆったりと汗を流した。夜は製図室で覚えた囲碁の腕を競いながら気分は学生時代に戻った。少人数での同期の集まりにはうってつけのコースです。

(中川記)

(参考)志賀高原京大ヒュッテ

<http://www.yamanami.org/>



昭和39年卒(関東地区)同窓会

日時:平成20年4月15日(火)12:00~14:00
場所:割烹 両国「吉葉」出席者:18名

卒業40周年の平成16年に関東在住者が集まったことを機会に、その後毎年1回開催することになり、今回は5回目となった。毎回20名前後が出席しての賑やかな会合となっている。今回も出席者の近況報告が格好の話題提供となり、発言者を抜きにしてしまうほどの脱線の連続で、2時間に何とか18名の報告が終わる程で、愉快的な同窓会でした。

今回幹事は、鎌本、平両氏で、次回は田中、中村両氏が担当することが決められた。

(広岡記)



●京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp/>)においても、各学年&研究室の最新の同窓会風景は、バックナンバーと共に掲載いたしております。